

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【令和8年3月2日版】

大津町役場 子育て支援課

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ【令和8年3月2日版】 目次

1. 公立認定こども園の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 移転に伴う影響・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
3. 安全対策・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
4. 子育て支援施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
5. 昭和園・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【公立認定こども園の概要】

No.	事項	質問・ご意見	回答	備考・関連No.
1	建設場所	説明会資料の中で建設予定地が示されていたが、園舎のみなのか。グラウンドや駐車場も含まれるのか。	示しているのは園舎とグラウンドの整備予定地。駐車場再整備ゾーンに新しく駐車場を整備予定。公園利用者と共同で利用することになる。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
2	建設場所	昭和園のどの付近に園舎や子育て支援施設を建設予定なのか。	昭和園北側駐車場付近になる予定。建物の配置については、西側に認定こども園、東側に子育て支援施設の建設を検討している。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
3	建設場所	なぜ現在の公園利用を制限してまで昭和園北側の平地に建設するのか。「スポーツの森大津」など他の町有地へ変更できないか。	建設地の選定においては東側駐車場を含む複数の候補地を検討し、園児の安全確保、および昭和園自体の活性化に資することを最優先に判断し、現在の場所を予定地として設定した。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
4	施設・設備	トイレが屋外にあり、暑さや寒さに影響されるため改善してほしい。	-	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
5	施設・設備	平屋ではなく二階建てになるのか。	二階建ては平屋に比べて高さがあるため、近隣の方への影響も考慮しながら、平屋建ても含めて協議を行っている。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
6	施設・設備	運動場はフェンスで囲むのか。	こども園の建物及び運動場は、子どもの安全性確保のためフェンスで囲む予定。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
7	施設・設備	今回提示された配置図は、最終決定事項という認識でよいのか。	現在の配置図は、これまでの協議を踏まえた最終的な案として設計を進めている段階のものであり、今後も詳細な調整を継続していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)

8	施設・設備	既存園はコンクリート造だが、新園舎に木造を選定した理由は何か。	自然豊かな昭和園の環境との調和を重視した。また、鉄骨造等との建設コストや耐久性を比較検討した結果、環境負荷の低減も考慮し、木造での建設を予定している。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
9	駐車場	東側と西側の駐車場は自由に使えるのか。	2か所とも利用ができるように考えている。送迎時にどちらの駐車場を利用するかなど、運用方法については今後検討予定。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
10	駐車場	東側の駐車場からこども園までの距離が長い。荷物が多い日や、雨天時、冬場に東側の駐車場から子どもと登降園するのは保護者の負担が大きいのと思う。	利用方法については検討予定だが、東側は主に職員駐車場としたり、防犯灯を設置したりするなどして可能な限り利用者の負担が少ないようにしていきたい。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
11	保育・教育内容	小学校に上がる準備が大変と聞いているので、保育園でも十分だとは思いますが、教育の面で小学校に上がる準備ができるように幼稚園への転園を考えていた。今回認定こども園に移行すると聞き嬉しく思った。小学校を見据えた教育が受けられると満足度が上がると思う。	-	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
12	計画の進捗	整備計画の内容について、町議会への報告状況はどうなっているか。	本整備計画については、令和7年12月議会において既に報告を行っている。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
13	今後の運用	少子化を見据え、将来的に園児が減少した際の施設利用はどう考えているか。高齢者との世代間交流などは可能か。	自然との融合を基本方針とし、地域の方々が交流できる場としての設計を進めている。将来的な園児数の変動に合わせ、施設の一部を地域の方へ一般開放するなど、柔軟な活用を検討していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【移転に伴う影響】

No.	事項	質問・ご意見	回答	備考・関連No.
1	在園児、保育士	在園児は自動で移行すると説明があったが、先生方はどうなるのか。自分の子どもが気に入っている先生がいなくなる可能性もあるのか。	子どもの人数に応じて必要な人数の保育士を配置する必要があるため、統合時の園児数により、保育士数の増減や人事異動があると思われる。特定の保育士が継続してこども園で勤務するかは、現時点で正確な回答はできない。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
2	説明会	今後の進捗状況についてはどのような説明がなされる予定なのか。	引き続き説明会を開催し、進捗の説明やご意見の聴取を行っていききたい。また、保育参観などでも周知を図っていききたい。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
3	説明会	今後このような説明会はあるのか。いつ頃予定しているのか。	計画の進捗状況に合わせて同様の説明会を開催したいと考えている。時期については、検討させていただく。	第1回住民説明会 (R7.8.22)

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【安全対策】

No.	事項	質問・ご意見	回答	備考・関連No.
1	防犯面	公立認定こども園の整備については賛成。ただし、不特定多数の方が様々な場所から出入りできるため、防犯面が不安。認定こども園だけでなく、昭和園全体も防犯面での対応はされるのか。	防犯対策については、多く意見をいただいているため、公園担当や保育士とも対策について協議している。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
2	防犯面	つつじが見ごろの時期には、県内外から多くの方が昭和園を訪れているが、認定こども園と分らず勝手に敷地に入らないか不安。	町としては、子どもたちに昭和園をもっと利用してもらいたいと考えており、昭和園自体の再整備も計画している。その際に認定こども園であることを認識してもらいやすくする工夫を考えていきたい。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
3	防犯面	不特定多数の方が利用するため、防犯面が不安。	-	第1回住民説明会 (R7.8.22)
4	防犯面	運動場はフェンスで囲むのか。	こども園の建物及び運動場は、子どもの安全性確保のためフェンスで囲む予定。	「公立認定こども園の概要」 No.5 再掲
5	防犯面	西側東屋付近の小山は死角になりやすく不適切な利用が懸念されるが、撤去を含めた対応は可能か。	課題については把握しており、こども園建設により減少する芝生広場の代替地として整備することを含め、死角を解消し適切な管理が行き届くよう計画を策定していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
6	交通面	昭和園付近の通学路は歩道がない箇所もあり、東側駐車場の利用が増えることで、危険度が増すと思うが、何か対策はあるのか。	通学時の安全性確保の必要性については認識している。防犯面については、関係部署とともに対策をする予定。通学時の安全性の確保については、道路を広げることは難しいため、既存の道路上で可能な安全対策を講じていく方向。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
7	交通面	昭和園入り口付近の道路は歩道が狭い。車のスピードも速く、既に事故が起きかねない。今後は保育園送迎時の道路にもなるため、安全対策をお願いしたい。	-	第1回住民説明会 (R7.8.22)

8	交通面	昭和園から東側道路へかけての転落の恐れがある危険箇所について、再整備に合わせた修繕は行われるか。	該当箇所の点検を速やかに行い、その結果に基づき、再整備時期に合わせるか、あるいは緊急性を考慮して前倒して修繕を実施するかを検討していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
9	災害対策	昭和園の近くに居住しているが、落雷の被害が過去にあっているため不安。対策はどうか。	落雷については、落雷を予測する機器を設置するなどして、天気が急変する最近の気象状況にも対応していきたい。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
10	災害対策	災害時の避難施設としての利用予定はあるのか。	町の施設であるため、地域における災害時の避難拠点として位置づけができるか検討していく。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
11	敷地管理	保育園の敷地内の管理は現在先生方がされていると思うが、昭和園移転後は、先生方はどこまで管理をするのか。範囲が広いと目が行き届くのかと思う。保育園敷地外は他部署がされるのであれば、適切に管理していただきたい。	公園内全体だと別の部署が管理を行うことになる。園児が頻繁に利用することにはなるため、安全な場所であるように努めていく。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
12	騒音問題	懸念しているのは音の問題。家にいる時間が長く、常に公園に隣接して生活する必要があるため、経過段階であれば子どもたちが活動する際の音について、周囲への影響が少なくなるように配慮してもらいたい。	-	第1回住民説明会 (R7.8.22)
13	騒音問題	認定こども園が昭和園内にできることは、子どもたちも自然を感じながらお散歩ができるので、とてもいい考えだと思う。現在保育園の近くに住んでいるが、子どもたちの声が聞こえるのはとても幸せだと感じている。今回の認定こども園の近くの方も、そのように感じてもらえるようになってほしい。	-	第1回住民説明会 (R7.8.22)
14	施設・設備	プール使用時の外部視線への配慮はどうか。また、開放性と引き換えに防犯や火災時の安全性が疎かにならないか。	敷地の高低差を有効に活用し、外部からの視線に配慮しつつ、火災等の緊急時の安全確保と公園施設としての開放性を両立させることを基本設計の原則として追求していきたい。	第2回住民説明会 (R8.1.14)

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【子育て支援施設の概要】

No.	事項	質問・ご意見	回答	備考・関連No.
1	病児保育	医療的ケア児の対応もされると説明があったが、新たに整備する施設での病児保育の実施予定はあるか。	病児保育は、新たな施設での実施予定はなく、現在実施している子育て支援センターや近隣（あおぞら保育園）の病児保育施設の利用をお願いすることになる。	大津保育園保護者説明会 (R7.8.19)
2	施設・設備	支援センター側はフェンス側で囲まないと話があったが、夜間に若者のたまり場になりかねないことや、昭和園全体に高低差があり子どもが遊んでいるときに目が行き届かないため、フェンスである程度囲ってほしい。	-	第1回住民説明会 (R7.8.22)
3	施設整備の必要性	少子化の中で、中央公園の既存施設に加えて昭和園内にも新設し、町内に計2か所も整備する必要があるのか。	町の整備方針として、中学校区ごとに1か所の支援拠点を配置することを目指している。昭和園内は「北中校区」の拠点として新たに整備し、相談機能の充実と地域に密着した支援体制を強化していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)

公立認定こども園・子育て支援施設整備に関するFAQ

【昭和園】

No.	事項	質問・ご意見	回答	備考・関連No.
1	施設・設備	建設予定地全体をフェンスで囲うのか、公園と一体化した整備になるのか。現在の芝生広場が建設予定地に含まれているが、現在サッカーの練習を個人でしている子どもがいる。フェンスで囲まれてしまうとそのような子どもたちの練習場所が無くなってしまう。	こども園部分は防犯面からフェンスで囲む予定。拠点施設は、昭和園との一体的な整備を考えているため、フェンスで囲まない予定。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
2	施設・設備	犬の散歩で昭和園を利用するが、整備後も今まで通り利用可能なのか。	今回の整備に伴い、利用を制限する予定はない。昭和園の再整備も段階的に行い、皆さんにとって過ごしやすい場所を目指していく。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
3	施設・設備	今回の整備に伴い、昭和園の広さは変わるのか。	昭和園の面積は変わらない。	第1回住民説明会 (R7.8.22)
4	施設・設備	「インクルーシブ遊具」とは具体的にどのようなものか。	障害の有無や年齢、特性に関わらず誰もが一緒に遊べる遊具のこと。例えば、車椅子のまま利用できるスロープ付き遊具や、座った状態を保持しやすい調整機能付きの遊具などをいう。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
5	施設・設備	あけぼの団地側から昭和園へ行くルートには階段しかないが、ベビーカー利用者のためにスロープを設置できないか。	既存スロープの有効活用を含め、昭和園南側からの円滑なアプローチが可能となるよう、再整備計画の中で具体的な動線を検討していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
6	施設・設備	町内に水遊び場が少ない。昭和園内に噴水などの水遊びができる環境を整備してほしい。	設置への強いニーズは認識している。維持管理コスト等の課題があるが、公園の魅力を高める要素として、いただいたご意見を踏まえ前向きに検討していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
7	駐車場	東側駐車場と昭和園を結ぶ橋はどのような改修をするのか。	橋の点検を行い、使用する上で架け替えは不要と検査結果が出たが、手すりのさびや、橋面のひび割れは見受けられるため、補修を行う予定。	第1回住民説明会 (R7.8.22)

8	駐車場	東側と西側の駐車場は自由に使えるのか。	2か所とも利用ができるように考えている。送迎時にどちらの駐車場を利用するかなど、運用方法については今後検討予定。	「公立認定こども園の概要」 No.6 再掲
9	建設場所	昭和園のどの付近に園舎や子育て支援施設を建設予定なのか。	昭和園北側駐車場付近になる予定。建物の配置については、西側に認定こども園、東側に子育て支援施設の建設を検討している。	「公立認定こども園の概要」 No.2 再掲
10	植栽・環境	樹木の伐採にあたり、木陰の確保はなされるか。また、樹齢100年近い檜などの歴史ある樹木を保存できないか。	専門家による診断を行い、枯損木は安全のため伐採する予定。歴史ある檜等は状態を確認しながら最大限保存に努める。夏場の木陰を確保しつつ、遊びの安全性と景観が両立するようバランスよく配置、計画していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)
11	植栽・環境	子どもが発達段階に合わせて遊びに活用できるよう、どんぐりの木などを植栽してほしい。	現在、昭和園内にどんぐりの木はないが、今後の植栽計画の見直しにおいて、どんぐりや落ち葉拾いなど、子どもたちの自然教育や遊びに資する樹種の導入を検討していく。	第2回住民説明会 (R8.1.14)